

TTC 提案山行実施記録表

2015年5月9日 報告者: AK

山行名	箱根 明神ヶ岳(1169m)~明星ヶ岳(924m)~塔ノ峰(566m)		
実施日	2015年5月2日(土)	日帰り	公共交通機関利用
天候/参加人員	天候: 薄曇り レベル:★★☆ 参加者: 申込:7名/実行5名(男5名)		
パーティスタッフ	CL/計画: SL: 救護: 会計:なし 写真: スタッフ名削除		
参加メンバー	参加者氏名削除		合計5名
費用 ¥1,770- (本厚木起点)	[内訳] 本厚木駅⇒小田原駅 ¥460 小田原駅⇒大雄山駅¥270 大雄山駅⇒道了尊 ¥270 箱根湯本駅⇒本厚木 770		

所要時間		歩行時間	休憩時間	行動時間
	ガイドブック	6:05	—	—
	計画	6:40	1:40	8:20
	実行	6:20	1:40	8:00

実行コースタイム記録

小田急線 (集合)	大雄山線	路線バス	1:00	休憩 10	30
本厚木駅	小田原駅	大雄山駅	道了尊	見晴小屋	神明水
6:11	6:53/7:12	7:33/7:48	7:58/8:20	9:20/9:30	10:00
30	休憩 10	30 (昼食 50分)	30	40	休憩 15
1:00	1:00	1:00	1:00	1:00	30
途中休憩	明神ヶ岳	鞍部	明星ヶ岳	林道	
10:30/10:40	11:10/12:00	12:30	13:10 /13:25	14:25	
休憩 15	1:10 (解散)				
塔ノ峰	箱根湯本駅				
14:55/15:10	16:20				

コースの概要、特記事項、反省事項等

TTC では、初めてと思われる集合場所の大雄山線小田原駅に全員集合。ガラガラの単線の四両電車に乗り 21 分間で大雄山駅に到着。バスに乗り継ぎ、じきにスギの巨木の間を抜ける参道を走り 10 分で終点の道了尊に着いた。バス停近くで準備体操後に登山を開始。スギの巨木に我々 5 人だけが出迎えられ、最乗寺本堂で登山の無事を願い用意してきた硬貨を投げ入れる。いよいよ参道から山道に入るといきなりの急登がジグザグに続くがスローペースで 5 分ほど登るとなだらかな尾根道に出る。道はなだらかでおしゃべりしていても息が上がらない。スギの巨木林の間から陽がこぼれていて朝のさわやかさと相まって気持ちが良い。しばらくして林道を横断して進むとスギも幹が細くなり、そろそろ休みたいと思う頃に、見晴小屋に到着。丹沢山塊を眺めながら休憩を取る。小屋から 10 分弱で観光客を運ぶためのリフトの残骸(建物の鉄骨、トランス、大きな歯車等)が放置されている小屋跡に到着。遺されたワイヤーを幹が抱き込んだものや鉄骨の間から成長した樹木等を見て自然のたくましさに関心するとともに、自然界からの警告を感じた。次に一年中溷れることがないという神明水に到着。各自名水で喉を潤したり水筒の水を入れ替えた(山で水を捨てる時は、水場で捨てる)。水場を過ぎると草原に出て道が急になったりゆるくなったりするが、快晴で足柄平野や丹沢を眺めながら進んだ。途中の木陰で 10 分程休憩後、急な登山道を一呼吸登ると展望が開け外輪山の稜線に出た。今まで登ってきた道が割と緩やかな長い道であったが西側は、深く切立った火口壁となっている。そして 2, 3 分で明神ヶ岳山頂に到着。快晴で西に雪を残した富士山を眺めることが出来き、南に現在騒がれている大涌谷を眺めことがきた。山頂は、草原を回復すべくロープを張った養生部分があり以前の様に広くはない。5 人で大体かたまり昼食を取った。ゆっくり昼食休憩を取りほぼ予定時刻に出発した。ここ外輪山の尾根道は左右共に眺望がよく足取りも軽く次の休憩地である鞍部までの下りを 30 分で着いてしまい、そのまま起伏の多い尾根道を登ったり下ったりを繰り返していると明星ヶ岳山頂部の北端につき 5 分くらいで明星ヶ岳山頂に到着。周りを 2, 3 メートルの箱根竹で囲まれ眺望が悪い中、白い山桜が咲いていて、桜を見ながら休憩を取り呼吸を整えた。ここから左右を箱根竹に覆われた一本道の登り下りをくり返し進む。登山道脇で TY さんが「浦島草」を見つけて独特な葉の形と釣り糸に一同見入っていた。また登山道脇には日本原生の渋い「草ボケの花」を観ることが出来た。また展望の利かない登山道ではあるがときどき小田原市街を望むことが出来て足を止めた。そうこうしているうちに塔ノ峰分岐に着き最後の 10 分位の登りをして三角点のある塔ノ峰に到着し休憩。ここからは下り一方で、阿弥陀寺の横を通り箱根湯本駅に到着して解散した。